



茶の花十里
 三好達治
 牧の原 茶の花十里
 露じまにぬれて咲く日は
 茶畑はもう用のすみし日のあと
 何を見んとて咲く花か
 刈りつめられし丘の波 その歌を出て
 また波に入る ちんちろ
 蔭長く 花粉豊かに 葉がぐれに
 牧の原 花の花十里

地域の誇り「茶園景観」を世界へ、暮らし・歴史が紡ぐ原風景を次代へ

景観形成の方針

公共施設や道路の管理者である『公』、屋外広告物や民家の管理者である『民』、『茶』業に関わる皆様が一丸となって、茶園景観を次世代に継承していきます。



- ・静岡が世界に誇る茶園景観
- ・大井川が育む自然と暮らしの景観
- ・経済と文化を結ぶ交通と景観



茶園景観を「守る」ことを基本に、ビュースポットの整備・活用などの「見せる」取組、ツーリングコースの設定、PR施策などの「活かす」取組を行います。



地域全体での取組

茶園景観の保全

- 公共施設等の景観形成の推進
- 農業用施設、建物等の景観への配慮
- 荒廃農地対策の推進

沿道景観の保全

- 屋外広告物の景観誘導
- 道路付帯施設などの良好な景観形成の推進

重点区域での取組

1 牧之原台地



グリーンティーツーリズムを活かした景観づくり

- 魅力あるツーリングコースの設定
- 良好な茶園景観を望むビュースポットの整備

2 牧之原台地南部



茶園と公園を楽しむ場としての景観づくり

- 魅力あるツーリングコースの設定
- 情報発信の充実



3 川根



大井川の歴史・茶園・温泉を活かした景観づくり

- 大井川鉄道沿線における景観の改善
- 景観資源ネットワークルートの設定

4 藤枝北部



体験型観光イベントと連携した茶園景観づくり

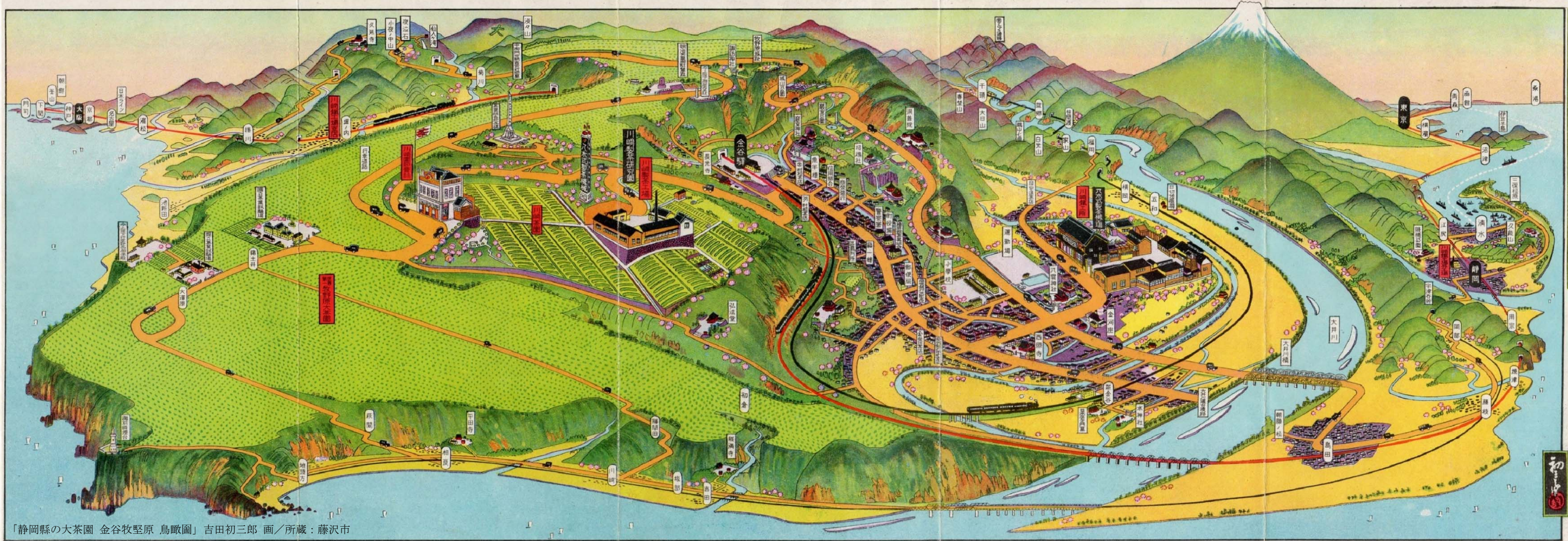
- 体験型観光イベントにおける茶園景観を活用した事業の展開

5 粟ヶ岳



静岡が誇る伝統農法を感じる景観づくり

- 世界農業遺産の景観保全と情報発信
- 粟ヶ岳山頂等のビュースポットの活用



「静岡県の大茶園 金谷牧野原 鳥瞰図」吉田初三郎 画/所蔵：藤沢市

日本茶の約4割を生産する静岡県。その6割がこの地域で生産されています。ここでは、大井川流域、川根地域と藤枝の山間地域で、品質の高い普通蒸し煎茶がつくられ、牧之原台地では全国に誇る深蒸し煎茶がつくられています。

この牧之原台地でお茶が生産されるようになった背景には大変な苦勞がありました。明治2年、江戸幕府の倒幕で失職した旧幕臣約250戸によって、荒地の開墾が始まりました。翌年、大井川の川越制度が廃止され、明治4年には職を失った人足たちも加わり、一丸となって開墾が進められました。その後、品質の高いお茶づくりを目指し、横浜の製茶共進会で高い評価を受けるようになりました。さらに、清水港から北米などへのお茶の直接輸出が始まったことで、お茶の需要が高まり、牧之原台地は今日の大茶園に発展しました。



大井川流域・牧之原大茶園 景観形成行動計画 概要版

美しい景観を
守り、育て、次世代に引き継ぐために

■ 大井川流域・牧之原大茶園景観協議会
(静岡県、島田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御前崎市、菊川市、牧之原市、吉田町、川根本町)

大井川流域・牧之原大茶園景観形成行動計画 概要版
発行：静岡県交通基盤部都市局景観まちづくり課
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号 TEL：054-221-3490

平成31年3月
大井川流域・牧之原大茶園景観協議会